

（別紙）

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ－１ 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ－１－（１） 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	Ⅰ－１－（１）－① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・ b ・c
<コメント> 理念・基本方針については、広報媒体（HP・パンフレット）を通じて利用者・家族へ周知し、全体研修や会議にて職員への共有を行っている。 今後は、事業所内掲示や説明資料の整備、周知状況の定期的な確認を通じて、理念が職員の実践に一貫して反映される体制づくりを強化していくことが期待される。		

Ⅰ－２ 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ－２－（１） 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	Ⅰ－２－（１）－① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・ b ・c
<コメント> 中核機能強化事業所として、太田市障がい福祉課、基幹相談支援センター、医療的ケア児支援センターと連携し、地域の動向や課題を把握している。また、厚労省の審議会情報等も参照し、社会福祉事業全体の動向を踏まえた分析を行っている。 今後は、把握・分析された情報をもとにした対応が期待される。		
③	Ⅰ－２－（１）－② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・ b ・c
<コメント> 幹部および現場管理職を含む会議で、運営コストや体制整備、人材育成等の課題を共有している。外部講師による研修も実施し、組織力の強化を図っている。 今後は課題の数値化や職員への共有方法の改善への取り組みが期待される。		

Ⅰ－３ 事業計画の策定

		第三者評価結果
Ⅰ－３－（１） 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	Ⅰ－３－（１）－① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・ ③
<コメント> 中・長期的な事業計画が作成されていない。また、単年度の収支計画はあるが、事業計画が作成されていない。中・長期計画と連動した運用が期待される。		
⑤	Ⅰ－３－（１）－② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・ ③

<コメント> 単年度の計画は作成しているが、周知が十分とは言い難い。今後は中・長期的な方針との連動を図ることが期待される。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b c
<コメント> 全体研修にて実施する事業等についての共有は図られている。 今後は、職員の意見を反映した計画策定や、定められた時期での実施状況の確認・見直しを行い、組織的なPDCAの定着を図っていくことが期待される。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b c
<コメント> 事業計画の周知が十分とは言い難い。今後は、掲示や説明資料の作成など、利用者・家族が理解しやすい方法で情報提供を行い、参加を促す取り組みが期待される。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b c
<コメント> 法令に基づく自己評価を年1回実施し公表しているほか、職員による施設内評価と利用者家族からの評価も行っている。 今後は、これらの結果をもとに、組織としてサービス内容の確認・分析を行う体制作りが期待される。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b c
<コメント> 評価結果を職員間で周知し、改善策を検討する機会を設けている。評価結果をもとに振り返りの時間を新たに設けるなど、職員の参画のもとで改善に取り組んでいる。 今後は、定着と効果が期待される。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b c

<コメント> キャリアパスを導入し、管理職・リーダー・一般職の役割を明確化している。また、職務分掌を文書化し、会議や研修を通じて管理者の役割と責任を周知している。 今後は、有事における権限委任の明確化にも取り組んでいくことが期待される。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・ (b) ・c
<コメント> 全国重症児デイネットワークに所属し、報酬改定や運営体制、経営に関して定期的に研修を受けている。また、関係機関とも情報共有を行っている。 今後は、管理者から職員に対し、周知を図っていくことが期待される。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・ (b) ・c
<コメント> 年1回職員自己評価をもとに、サービス向上を図ると共に中核機能訓練強化事業所として現場のニーズを踏まえた研修企画をしている。 今後は、研修成果の自事業所への具体的なフィードバックと活用が期待される。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・ (b) ・c
<コメント> 基準を上回る職員配置を行いながら、経営面の負担を最小限に抑え、サービスの質の向上・維持に取り組んでいる。 今後は、運営の向上に向けて、人事、労務、財務等の分析が期待される。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・ (b) ・c
<コメント> 中核機能強化事業所として、人材育成を目的に外部研修を実施している。ホームページやSNSを活用し、採用活動や職場環境の見える化を図っている。 今後は、必要な人材の確保と定着、育成に関する方針の確立が期待される。		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・ (b) ・c
<コメント> キャリアパス制度を導入し、期待する職員像や人事基準を明確化している。職員の意見を反映しながら制度内容を調整し、専門性や職務遂行能力を評価する仕組みを整えている。 今後は、職員が、自ら将来の姿を描くことができる総合的な仕組みづくりが期待される。		

Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・ (b) ・c
<コメント> 年1回の職員個別面談を実施するとともに、残業を抑えるための業務調整や、子どもが小さい職員の急な休みに対応できる柔軟なシフト調整を行っている。 今後は、面談結果の活用や継続的なフォローアップを通じて、より働きやすい職場づくりが進むことが期待される。		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・ (b) ・c
<コメント> 毎年の個別面談でキャリア相談を行い、職員が目指すキャリアに応じた研修参加や資格取得を奨励している。 今後は、その成果が業務の質向上に繋がることが期待される。		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・ (b) ・c
<コメント> キャリアパスに必要な専門技術や資格を明示し、チームビルディング研修、リーダー研修、幹部研修など、キャリア段階に応じた研修を実施している。 今後は、内容の評価と見直しも定期的な実施が期待される。		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・ (b) ・c
<コメント> 外部研修への参加を奨励し、研修費や交通費の助成を行うことで、職員が学びの機会を確保できるよう配慮している。 今後は、修内容を支援に活かす工夫が期待される。		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・ (b) ・c
<コメント> 実習指導者の要件を満たす職員が在籍しており、専門職種の特性に配慮したプログラムも整備している。 現在は実習生の受入れを行っていないが、今後の受け入れに向けて体制整備が期待される。		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・ (c)
<コメント> 自己評価の結果をホームページで公開している。今後は、改善に向けた取組内容や地域に向		

けた活動の情報発信を強化し、事業所の役割やサービスの必要性がより伝わる仕組みが期待される。		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・ c
<コメント> 収支計画の作成にあたっては外部専門家の助言を受けている。 今後は、職務分掌の周知や内部確認の仕組みを整備し、より透明性の高い運営体制の構築が期待される。		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・ b ・c
<コメント> 玄関の掲示板を活用し、地域の行事や社会資源に関する情報発信を行っている。 今後は、地域との関わり方の整理や具体的な交流の機会づくりを進め、利用者が地域とつながる機会を広げていくことが期待される。		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・ c
<コメント> 特別支援学校へ講師派遣を行っている。ボランティアの受入れについては今後の検討課題としており、受入れ体制の整備が期待される。		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a ・b・c
<コメント> 自立支援協議会に参画し、太田市自立支援協議会就学児部会の部会長を務めている。中核機能強化事業所として、関係機関との連携や支援体制の構築、社会資源発掘に取り組んでいる。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a ・b・c
<コメント> 地域民生委員との施設見学会や情報交換会を年2回実施し、地域の福祉ニーズや生活課題の把握に努めている。		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・ b ・c
<コメント> 発達障害児の運動ニーズに対応した運動療育（こどもフィットネス LiberTy）を提供しているほか、民生委員との交流を通じた社会資源の発掘、定期的な研修会による専門知識の共有な		

ど、地域の福祉向上に向けた取り組みを行っている。
 今後は、こうした活動の継続と、地域との協働による新たな展開が期待される。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・ b ・c
<コメント> 運営規程に基づき、虐待防止委員会・身体拘束委員会を毎月開催し、利用者の権利擁護に取り組んでいる。 今後は、利用者・家族の声をより反映できる意見収集の仕組みの整備検討に期待される。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・ b ・c
<コメント> 更衣や排泄時に、その都度パーテーションを設置し、利用者のプライバシー確保している。 今後は、利用者・家族への説明を通じて、より一層の理解と安心感の醸成が期待される。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a ・b・c
<コメント> 玄関に掲示板を設置し、事業内容や医療的ケアに関する情報提供を行っている。利用希望者には個別説明や見学対応を行い、理解しやすい情報提供に努めている。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a・ b ・c
<コメント> サービス開始時・契約時に説明を行い、必要に応じて資料を用いて丁寧に対応している。利用者・家族の理解を確認しながら同意を得ており、記録として書面に残している。 今後は、利用者自身が理解しやすいような工夫が期待される。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・ b ・c
<コメント> パンフレットや資料を用いて説明を行い、移行時には利用者の状況に応じた配慮を行っている。利用終了後も相談できる体制を整え、必要な情報提供を行っている。 今後は、利用者の特性に応じた、引継ぎの工夫が期待される。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を	a・ b ・c

	行っている。	
<コメント> 利用者満足度アンケートを実施し、結果をホームページで公表している。 今後は、結果を踏まえた改善に取り組み、利用者の声をサービス向上に反映に期待される。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・ c
<コメント> 苦情受付体制の整備に向けて検討を進めており、意見箱の設置など、利用者が意見を述べやすい環境づくりへの取り組みが期待される。		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・b・ c
<コメント> 相談しやすい環境づくりを進めている段階であり、今後は複数の相談方法を明示し、利用者・家族にわかりやすい周知が期待される。		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ b ・c
<コメント> 連絡ツールとしてLINEを活用し、送迎時の申し送りで情報共有を行っている。家族からの相談・問い合わせには迅速に対応できる体制を整え、対応内容を組織内で共有し統一した対応に努めている。 今後は、対応マニュアルの整備が期待される。		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ b ・c
<コメント> 毎月のリーダー会議でヒヤリハット・事故事例の共有を行い、再発防止策を検討している。全体研修では安全・事故防止や一次救命の研修を実施し、日々の利用者の体調変化についても迅速に情報共有し対応している。 今後は、リスクマネジメントに関する体制整備が期待される。		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・ b ・c
<コメント> 感染対策委員会を設置し、会議を通じて感染症対策の確認と周知を行っている。マニュアルに基づき予防策を講じている。 今後は、感染マニュアル等の定期的な見直しが期待される。		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・ b ・c
<コメント> BCPを策定し、災害時の対応体制を整えている。 今後は、防災に特化した対応マニュアルの整備を進め、より実効性のある体制づくりに取り		

組んでいくことが期待される。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・b・ c
<コメント> 標準的な実施方法の文書化は今後の課題であるが、運営規程や委員会活動を通じて、利用者の尊重やプライバシー保護に配慮した支援を行っている。文書化と周知の仕組みづくりに期待される		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ b ・c
<コメント> 標準的な実施方法の文書化が課題である。 今後は基準に沿ったサービス提供と見直しの仕組みを整備し、質の向上に期待される。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	a・ b ・c
<コメント> 専用アセスメントシートを使用し、関係機関と連携しながら個別支援計画を策定している。 また、利用者のニーズを反映した計画づくりを進めている。 今後は福祉ニーズやモニタリングに繋がるアセスメントの活用が期待される。		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	a・ b ・c
<コメント> 利用者・家族と連携し、モニタリングを通じて計画の見直しを行っている。変更内容は関係職員に共有し、必要に応じて迅速に対応している。 今後は、緊急時への対応の仕組みが期待される。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a・ b ・c
<コメント> 事業所で作成した看護サマリーを使用し、統一した様式で利用者の状況を記録している。記録内容は職員間で共有し、必要な情報が適切に伝達されるよう会議や申し送りの場を活用している。 今後は、生活全般を網羅した記録の活用が期待される。		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・ b ・c
<コメント> 社内研修にて個人情報保護に関する研修を実施し、契約時には個人情報保護の説明と同意を得ている。		

今後は、管理責任の明確化が求められる。

A－1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A－1－（１） 自己決定の尊重		
A①	A－1－（１）－① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	㉠・b・c
<コメント> 視線入力やスイッチ器具を用いたコミュニケーション支援を行い、利用者の自己表現を尊重している。2～3 ヶ月に１回、美容師によるカットを実施するなど、個々のニーズに応じた選択の機会を確保している。生活介護利用者からの相談には随時対応し、個別支援会議で情報共有と検討を行っている。		
A－1－（２） 権利擁護		
A②	A－1－（２）－① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	㉠・b・c
<コメント> 身体拘束・虐待防止委員会を設置し、虐待通告義務や通報手順を明確化している。毎月のリーダー会議で事例検討を行い、意思表示が難しい利用者の尊厳を守るための取組を継続している。		

A－2 生活支援

		第三者評価結果
A－2－（１） 支援の基本		
A③	A－2－（１）－① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a・㉠・c
<コメント> 利用者の装具・車椅子・用具など、個別性に応じた補助具の相談に対応し、必要な行政手続きの支援も行っている。生活場面では見守りを基本とし、必要時に迅速に支援することで自立を促している。		
A④	A－2－（１）－② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	㉠・b・c
<コメント> 視線入力機器、絵カード、写真など視覚的な工夫を取り入れ、意思表示が難しい利用者の表		

現を尊重している。必要に応じてコミュニケーション機器の活用や代弁支援を行い、意思の理解に努めている。		
A⑤	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a・ b ・c
<コメント> 利用者の選択や意思決定を支えるための情報提供や説明にも努めている。 今後は、利用者との定期的な個別相談の機会を設けることが期待される。		
A⑥	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a ・b・c
<コメント> 利用者の意向に合わせ、サービス利用中の過ごし方について柔軟に対応している。医療的ケアが必要な利用者については、生命の安全を前提に集団活動やリハビリ等への参加を調整し、個別支援計画とあわせて活動内容の見直しを行っている。		
A⑦	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a ・b・c
<コメント> 医療的ケア児支援センターが開催する研修会に定期的に参加し、専門性の向上に努めている。医療ニーズが高い利用者には看護師が送迎に添乗し、安全に配慮している。利用者申し送りノートや業務日誌を活用し、職員間で情報共有を行っている。		
A-2-(2) 日常的な生活支援		
A⑧	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a ・b・c
<コメント> 利用者の心身の状況に応じて、ペースト食・経管栄養・家族の持ち込み食など個別の食事形態に対応している。呼吸器使用者の入浴にも配慮し、生命維持と生活リズムを意識した支援を行っている。入浴・排泄・移乗などの日常生活支援についても、利用者の状態に合わせて適切に実施している。		
A-2-(3) 生活環境		
A⑨	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a ・b・c
<コメント> 看護師以外の職員も喀痰吸引が可能であり、安全に配慮した支援体制を整えている。褥瘡予防マットの使用など、臥床時間に応じた個別の工夫を行い、清潔で適温・明るい環境を維持している。		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
A⑩	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a ・b・c
<コメント> 理学療法士が常駐し、利用者の心身の状況に応じたりハビリテーションを提供している。看護師や児童指導員との多職種連携により、安全に配慮した機能訓練や生活訓練を実施してい		

る。個別計画に基づき、定期的なモニタリングを行いながら支援内容の見直しを進めている。		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
A⑪	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 緊急時の対応手順をフロアに掲示し、個別の急変時対応については主治医指示書等を確認できる体制を整えている。利用者の健康状態を日々の支援場面で把握し、体調変化時には医療機関と連携して迅速に対応している。健康管理に関する職員研修も定期的の実施している。		
A⑫	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 医療的ケア研修に毎年参加し、職員の専門性向上に努めている。喀痰吸引等の特定行為が可能な介護福祉士を配置し、医療ニーズに対応できる体制を整えている。		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
A⑬	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 利用者および家族の意向を重視し、学校等と連携しながら社会参加の機会を調整している。 今後は、外部との交流が課題であることを認識されていることから、利用者の希望に沿った社会参加の機会づくりに取り組んでいくことが期待される。		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
A⑭	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 利用者の卒業後を見据えながら生活を考え、リハビリの工夫を提案している。就労相談も受けている。併設する介護デイサービスと行事や活動の交流を行う機会を設けている。		
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
A⑮	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 言語的な表出が難しい利用者が多いため、家族とはLINEや送迎時の会話を通じて情報共有を行っている。体調が変化しやすい利用者については、事前に主治医と情報共有し、急変時の対応方法を作成している。 今後は、家族同士のつながりづくりは、課題として取り組んでいくことが期待される。		

A-3 発達支援

	第三者評価結果
--	---------

A-3-(1) 発達支援		
A⑯	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	㉓・b・c
<コメント> 週でメニューを決めている。また個別支援は看護師が中心となり体調の変化に伴ってメニューを臨機応変に対応している。		

A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
A⑰	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
<コメント> 該当項目なし		
A⑱	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a・b・c
<コメント> 該当項目なし		
A⑲	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
<コメント> 該当項目なし		